

# 本レポートについて

GRI2-2 GRI2-3 GRI2-4 GRI2-5

## イントロダクション

### 本レポートについて

目次

キヤノンの企業理念

CEOメッセージ

キヤノングループについて

ハイライト

キヤノンのサステナビリティ

環境

社会

ガバナンス

第三者保証

キヤノンサステナビリティレポートは、ステークホルダーのみなさまに、キヤノンのサステナビリティに関する考え方や取り組みを深くご理解いただくことを目的としています。

2026年版では、本レポートの主要なトピックを一目で把握していただけるよう、一年間の変化や進捗などをまとめたハイライトページを掲載しました。

また、他の報告書と重複する内容の一部を本レポートから削除しました。TCFDに沿ったシナリオ分析の詳細は「有価証券報告書」を、コーポレート・ガバナンス体制の詳細は「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」をご参照ください(下表)。

別ファイルのデータ集および本レポート内の一部データについては、数値の信頼性向上のため第三者保証を受けています。

参考：データ集  
<https://global.canon/ja/sustainability/report/pdf/data-2026-j.pdf>

本レポートはGlobal Reporting Initiative (GRI) スタンダードに準拠しています。GRIスタンダードの対照表は以下のWebページに掲載し、本レポート内にも、該当するGRIスタンダード開示項目につき、アイコンとともに明示しています。

GRI開示項目アイコン例：**GRI2-2**

参考：GRIスタンダード対照表  
<https://global.canon/ja/sustainability/gri/>

### 報告対象期間

2025年度(2025年1月1日から12月31日)  
 一部内容に当該期間以前・以後の情報も記載しています。

### 報告対象組織

キヤノングループ全連結対象会社321社(国内55社、海外266社)のデータを取りまとめて報告しています。環境関連データ(GHG排出量を除く)の集計範囲はISO14001統合認証113社と統合認証外の1社です。

参考：グループ会社情報  
<https://global.canon/ja/corporate/group/index.html>

### 発行時期

2026年5月(前回：2025年4月、次回予定：2027年5月)

### 参考しているガイドラインなど

- ・GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- ・欧州サステナビリティ報告基準(ESRS)
- ・ISO26000「社会的責任に関する手引き」
- ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言
- ・自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)による提言
- ・内閣官房・経済産業省「人的資本可視化指針」
- ・環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- ・環境省「環境会計ガイドライン(2005年版)」
- ・日本経済団体連合会「企業行動憲章」

### 開示データ

算出方法の変更や対象拠点などの拡大にともない、これまで開示した過去データの見直しを行っています。したがって、一部過去の開示データと異なる部分があります。原則として単位未満で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

### 文中の表記

「キヤノン」はキヤノン株式会社およびその連結子会社すべてを含むグループ全体を、「キヤノン(株)」はキヤノン株式会社単体を表しています。また、「従業員」は社員のほかパート・アルバイトなども含みます。また、欧州・中東・アフリカ地域を含めて「欧州」としています。

### 免責事項

本レポートには、キヤノンの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略にもとづいた将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。

### 問い合わせ先

TEL：03-3758-2111  
 URL：<https://global.canon/ja/contact/sustainability-r/sustainability-r-form.html>

## サステナビリティ情報を含む報告書

報告書	内容	PDF
キヤノンサステナビリティレポート	サステナビリティに関する考え方や体制をはじめ、環境、社会、ガバナンスなどに対する取り組みについて詳細かつ網羅的な情報を開示しています	
キヤノン統合報告書	経営計画や事業、財務、人材などの各戦略、ESGの取り組みをまとめ、中長期的な企業価値創造ストーリーを紹介しています	
CANON ANNUAL REPORT	英文連結決算報告書として財務情報を開示するとともに、事業戦略や環境、社会、ガバナンスに関する取り組みなどの非財務情報についても紹介しています	
有価証券報告書	日本の金融商品取引法第24条第1項にもとづき作成され、特に財務状況に関する詳細な情報を開示しています	
コーポレート・ガバナンスに関する報告書	「コーポレートガバナンス・コード」に従い、コーポレート・ガバナンスの考え方や体制などを報告しており、機関設計、運用状況、実効性評価などのより詳細な情報を開示しています	

## 表紙について



事業所近くの川に生息するホタルの光を撮影した、社内サステナビリティフォトコンテストの受賞作品です。この美しい光景を守り続けたいという想いが込められています。



# 目次

## イントロダクション

- 本レポートについて
- 目次
- キャノンの企業理念
- CEOメッセージ
- キャノングループについて
- ハイライト
- キャノンのサステナビリティ
- 環境
- 社会
- ガバナンス
- 第三者保証

## イントロダクション

- 本レポートについて ..... 01
- 目次 ..... 02
- キャノンの企業理念 ..... 03
- CEOメッセージ ..... 04
- キャノングループについて ..... 05
- ハイライト ..... 06
- キャノンのサステナビリティ**
- サステナビリティマネジメント ..... 07
  - サステナビリティに対する考え方 ..... 07
  - サステナビリティ推進体制 ..... 07
  - 社内浸透への取り組み ..... 08
- ステークホルダーエンゲージメント ..... 09
- マテリアリティ(重要課題) ..... 10
  - マテリアリティ(重要課題)の特定 ..... 10
  - 特定したマテリアリティ(重要課題) ..... 10
  - 特定プロセス ..... 10
  - 重要課題と判断した理由 ..... 11
  - マテリアリティ(重要課題)指標/目標 ..... 12

## 環境

- 環境マネジメント ..... 14
  - キャノンの環境保証の考え方 ..... 14
  - グローバルな環境推進体制 ..... 14
  - 環境マネジメントのしくみ ..... 15
  - 製品環境アセスメント ..... 15
  - 環境マネジメントの有効性の確認 ..... 16
  - 環境目標達成の進捗管理 ..... 16
  - 環境・CSR業績評価 ..... 16
  - 環境教育 ..... 16
  - キャノンの省エネ・省資源の合言葉「Minimum Energy 360」 ..... 17
  - 環境表彰・環境月間 ..... 18
  - 環境コミュニケーション ..... 19
  - 環境法規制の遵守および苦情への対応 ..... 19
- 気候変動 ..... 20
  - キャノンのGHG削減の取り組み(2030年目標) ..... 20
  - TCFD提言への賛同 ..... 20
  - 気候影響に対する経営の管理体制(ガバナンス) ..... 21
  - シナリオ分析によるリスク・機会の特定と財務影響(戦略) ..... 21
  - 気候関連の指標と目標 ..... 21
  - 環境目標と実績 ..... 21
  - 環境負荷の全体像 ..... 23
  - 製品の省エネルギー設計 ..... 23
  - 拠点におけるエネルギー効率の改善 ..... 25
  - 再生可能エネルギーの活用 ..... 26
  - 事業拠点における温室効果ガス排出量 ..... 27
  - 物流におけるCO<sub>2</sub>削減 ..... 27
  - 製品使用時における削減効果 ..... 27
  - 社会インフラ維持管理における環境負荷低減 ..... 27

## 資源循環

- 資源循環 ..... 29
  - キャノンの資源循環の取り組み ..... 29
  - 「製品to製品」資源循環量 ..... 30
  - 産業別グループ毎の資源循環の取り組みと目標 ..... 30
  - 資源循環によるGHG削減効果 ..... 32
  - 再生材料(再生プラスチックや再生鉄)の導入 ..... 32
  - 複合機のリマニュファクチュアリング ..... 32
  - 再生プラスチック材料の開発と活用 ..... 34
  - 消耗品における取り組み ..... 34
  - 最新鋭の自動リサイクル工場キャノンエコテックパーク ..... 35
  - 使い捨てプラスチック削減に向けた取り組み ..... 35
  - 事業拠点における廃棄物削減の取り組み ..... 36
- 化学物質 ..... 37
  - 化学物質管理の考え方 ..... 37
  - 製品含有化学物質の管理 ..... 37
  - 次世代情報伝達スキーム検討への参画 ..... 38
  - 生産工程で使用する化学物質の管理 ..... 39
- 生物多様性 ..... 41
  - リスクと機会の管理 ..... 41
  - 生物多様性方針 ..... 41
  - TNFDへの対応 ..... 41
  - 森林資源の持続的活用に向けた取り組み ..... 42
  - キャノンバードプランチプロジェクト ..... 42
  - 世界目標「30by30」への貢献 ..... 43
  - ネイチャーポジティブをスローガンとした取り組み ..... 43
  - 水資源に関する方針 ..... 46
  - 持続可能な水資源の利用に向けた取り組み ..... 46
  - 水資源保全に向けた取り組み ..... 47

## 社会

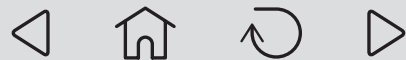
- 人権の尊重 ..... 48
  - 基本的な考え方 ..... 48
  - 推進体制 ..... 49
  - 人権デュー・デリジェンスの実施 ..... 49
  - キャノンにおける顕著な人権リスク ..... 50
  - 救済メカニズム ..... 50
  - 人権啓発活動 ..... 51
  - ステークホルダーエンゲージメント ..... 51
  - 自社従業員の人権尊重 ..... 52
  - サプライチェーンにおける人権尊重 ..... 53
  - 現代奴隷法への対応 ..... 54
- 雇用と処遇 ..... 55
  - 基本的な考え方 ..... 55
  - 人的資本経営 ..... 55
  - 推進体制 ..... 55
  - 人材の獲得と定着 ..... 56
  - 従業員エンゲージメントの向上 ..... 56
  - 経営幹部のグローバル化 ..... 56
  - 生産拠点における現地人材雇用 ..... 57
  - 公平・公正な報酬制度 ..... 57
  - 福利厚生の実施 ..... 57
  - 総実労働時間の短縮 ..... 57
  - 柔軟な働き方 ..... 57
  - 労使関係 ..... 59
- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 ..... 60
  - 基本的な考え方 ..... 60
  - 推進体制 ..... 60
  - 重要施策とKPI ..... 60
  - 女性の活躍推進 ..... 60
  - 男性の育児参画支援 ..... 61
  - LGBTQ+など性的マイノリティへの対応 ..... 61
  - シニア人材の活躍推進 ..... 62
  - 障がい者の社会進出を積極的に支援 ..... 62
  - 仕事と介護の両立支援 ..... 62

## 労働安全衛生と健康経営

- 労働安全衛生と健康経営 ..... 63
  - 基本的な考え方 ..... 63
  - 推進体制 ..... 63
  - 重点目標と実施項目 ..... 63
  - 労働安全衛生 ..... 63
  - 健康経営 ..... 65
- 人材育成と成長支援 ..... 67
  - 基本的な考え方 ..... 67
  - 推進体制 ..... 67
  - グローバル人材の育成 ..... 67
  - 各種エキスパートの育成 ..... 67
  - 人材育成体系 ..... 68
  - 功績をたたえる多様な認定・表彰制度 ..... 70
- 製品責任 ..... 71
  - 品質マネジメント ..... 71
  - 製品の安全性確保 ..... 72
  - 製品・サービスのセキュリティ対策 ..... 74
  - 販売後のサポートと対応 ..... 75
  - 製品の使いやすさの向上 ..... 76
- サプライチェーンマネジメント ..... 77
  - 基本的な考え方 ..... 77
  - 方針 ..... 77
  - 推進体制 ..... 77
  - サプライヤーに対する取り組み ..... 77
  - 責任ある鉱物調達への取り組み ..... 79
- 社会文化支援活動 ..... 81
  - 基本的な考え方 ..... 81
  - 方針 ..... 81
  - 推進体制 ..... 81
  - 主な取り組み ..... 81
  - 学術・研究を通じた社会への貢献 ..... 85

## ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス ..... 86
  - 基本的な考え方 ..... 86
  - ガバナンス体制 ..... 86
- リスクマネジメント ..... 87
  - 基本的な考え方 ..... 87
  - リスクマネジメント体制の状況 ..... 87
  - グループ全体で展開するリスクマネジメントコミュニケーション ..... 88
  - 財務リスクマネジメントの推進 ..... 88
  - コンプライアンスの推進 ..... 88
  - 事業リスクマネジメントの推進 ..... 91
  - 経済安全保障への取り組み ..... 91
  - 適正な納税の履行 ..... 92
  - AI技術の開発・活用におけるリスクへの取り組み ..... 92
- 情報セキュリティ ..... 93
  - 基本的な考え方 ..... 93
  - 情報セキュリティ推進体制 ..... 93
  - 情報セキュリティマネジメント体制 ..... 93
  - 情報セキュリティの取り組み ..... 94
- 第三者保証 ..... 95



イントロダクション

本レポートについて

目次

› キヤノンの企業理念

CEOメッセージ

キヤノングループについて

ハイライト

キヤノンのサステナビリティ

環境

社会

ガバナンス

第三者保証

# キヤノンの企業理念

## 共生

キヤノンの企業理念は、「共生」です。

私たちは、この理念のもと、文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず

すべての人類が末永く共に生き、共に働き

幸せに暮らしていける社会をめざします。

しかし、経済、資源、環境など

現在、地球上には共生を阻むさまざまな問題があります。

キヤノンは、共生に根ざした企業活動を通じて

これらを解消するため、積極的に取り組んでいきます。

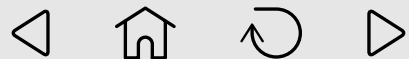
真のグローバル企業には、お客さま、地域社会に対してはもちろん

国や地域、地球や自然に対してもよい関係をつくり

社会的な責任を全うすることが求められます。

キヤノンは、「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし

共生の実現に向けて努力を続けます。



イントロダクション

本レポートについて

目次

キヤノンの企業理念

▶ CEOメッセージ

キヤノングループについて

ハイライト

キヤノンのサステナビリティ

環境

社会

ガバナンス

第三者保証

# CEOメッセージ



## 新たな5カ年計画のスタート

キヤノンの企業理念は「共生」です。これは文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず、すべての人々が末永く共に生き、共に働き、幸せに暮らしていける社会をめざすというものです。この理念のもと、永遠に技術で貢献し続け、世界各地で親しまれ、尊敬される企業をめざす「グローバル優良企業グループ構想」を1996年にスタートさせ、それ以降5年ごとに経営革新を進めてまいりました。

今年からは新たな5カ年計画「グローバル優良企業グループ構想フェーズVII」が始まります。これからの5年間を見据えたとき、私は3つの大きな潮流を強く意識しています。それは、「グローバル分断の進行」「AIの社会実装の加速」「労働力不足の深刻化」です。この現実を直視し、フェーズVIIでは、生産拠点の集約による地政学リスクへの対応や、AI活用を強化するための人材の獲得・育成などさまざまな戦略に果敢に挑戦し、次の時代の成長の道を切り拓いていきます。

## サステナビリティ経営の深化に向けて

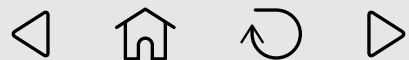
フェーズVIIの戦略の一つに「サステナビリティ経営の深化」を掲げました。気候変動や資源の有効活用、人権などの社会課題への対応は、企業の社会的責任に留まらず、グローバル企業として事業を継続するための不可欠な条件です。

キヤノンは、1993年に地球環境と事業活動の調和をキヤノングループの環境憲章として定め、すべての製品ライフサイクルにおいて、より多くの価値をより少ない資源で提供する「資源生産性の最大化」をめざしてきました。近年は、サステナブルな社会の実現に向けて、気候変動、資源循環、生物多様性といった環境分野のみならず、人権、人的資本、情報セキュリティなどの多様な分野における社会課題に対する取り組みを強化しています。2025年には、企業理念「共生」の実現に向けて取り組むべきサステナビリティ項目の中でのマテリアリティ（重要課題）を改めて検討いたしました。マテリアリティへの取り組みや情報開示を通して、SDGsの目標達成にも貢献していきたいと思っております。

今後もキヤノンは、ステークホルダーのみなさまから寄せられる期待にイノベーションとテクノロジーの力で応え、グループ一体となって持続可能な社会の実現に貢献してまいります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン株式会社  
代表取締役会長CEO

御手洗富士夫



# キヤノングループについて

GRI2-1 GRI2-2 GRI2-6 GRI2-7

## イントロダクション

本レポートについて

目次

キヤノンの企業理念

CEOメッセージ

キヤノングループについて

ハイライト

キヤノンのサステナビリティ

環境

社会

ガバナンス

第三者保証

### 地域別売上高

アジア・オセアニア

9,481億円

21%

欧州

1兆2,255億円

26%

日本

9,615億円

21%

米州

1兆4,896億円

32%

売上高合計  
(2025年)  
4兆6,247億円

### 地域別従業員数

アジア・オセアニア

59,275人

36%

欧州

22,332人

13%

日本

69,627人

42%

米州

14,313人

9%

従業員数合計  
(2025年)  
165,547人

### ビジネスユニット別売上高

#### インダストリアル

3,611億円

8%



半導体露光装置



FPD露光装置



有機ELディスプレイ製造装置

#### イメージング

1兆549億円

23%



ミラーレスカメラ



ネットワークカメラ



RFレンズ・EFレンズ

#### その他および全社

2,371億円

5%

売上高合計  
(2025年)  
4兆6,247億円

#### プリンティング

2兆4,944億円

54%



インクジェットプリンター



オフィス向け複合機



カットシートプリンター

#### X線循環器診断システム



MRI装置



X線CT診断装置

### 会社情報

商号 ..... キヤノン株式会社  
(Canon Inc.)

設立 ..... 1937年8月10日

本社所在地 ..... 東京都大田区下丸子  
3-30-2

代表取締役  
会長CEO ..... 御手洗 富士夫

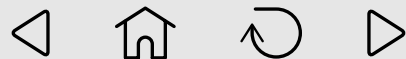
資本金 ..... 1,747億6,200万円

グループ会社数 ..... 連結子会社321社

持分法適用関連会社...8社

各グループ会社情報はWebサイトにてご覧いただけます。  
<https://global.canon/ja/corporate/group/index.html>

※ 各ビジネスユニットの連結売上高には、ユニット間消去があるため、総計100%になっていません。  
※ 事業ごとの戦略の詳細は統合報告書をご参照ください。 <https://global.canon/ja/ir/library/integrated.html>



イントロダクション

本レポートについて

目次

キャノンの企業理念

CEOメッセージ

キャノングループについて

ハイライト

キャノンのサステナビリティ

環境

社会

ガバナンス

第三者保証

# ハイライト

1年間の変化、進捗や、自社の製品、技術を活用した環境・社会への貢献事例など、本レポートの主要なトピックをまとめました

## 1年間の変化、進捗

### イントロダクション

#### CEOメッセージ

- 2026年からの中長期経営計画「グローバル優良企業グループ構想フェーズVII」を紹介 ..... P04

### 環境

#### 環境マネジメント

- Minimum Energy 360の取り組み事例を掲載 ..... P17
- 環境表彰の受賞案件を紹介 ..... P18

#### 気候変動

- LCAにおけるサプライヤーとの協業事例を掲載 ..... P24
- 生産GCMの特集を掲載 ..... P25

#### 資源循環

- 資源循環フローの刷新 ..... P29
- 各産業グループの資源循環目標を一覧化 ..... P30
- 複合機のリマニュファクチャリングにおける取り組み事例を掲載 ..... P32

#### 生物多様性

- TNFDへの対応を詳述 ..... P41

### キャノンのサステナビリティ

#### マテリアリティ(重要課題)

- 新たなマテリアリティ(重要課題)を掲載 ..... P10

### 社会

#### 労働安全衛生と健康経営

- 健康経営戦略マップを掲載 ..... P65
- スポーツエールカンパニーに認定、SAFEアワードを受賞 ..... P66

#### 人材育成と成長支援

- キャリアマッチング異動者数の推移を掲載 ..... P69

#### サプライチェーンマネジメント

- サプライヤーとの具体的協業事例を掲載 ..... P79

### ガバナンス

#### リスクマネジメント

- AIリスクへの取り組みを掲載 ..... P92

## 製品、技術、ソリューションを通じた環境・社会インパクトの創出

### 気候変動

- 超省電力を実現するナノインプリントリソグラフィ技術 ..... P24
- 脱炭素社会の実現に向けた高機能材料 ..... P26
- 社会インフラ維持管理における環境負荷低減 ..... P27

### 資源循環

- 独自技術でリサイクルに革命をもたらすプラスチック選別装置と分析機器 ..... P34

### 社会文化支援活動

- 隆起印刷技術を活用したインクルーシブな取り組み ..... P82

